

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 498

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の合作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ鷹の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



生活雑貨包装の仕事で、お椀にラベルを貼る作業がありました。とても真剣な顔で仕事に取り組み姿に思わずバチリ。

ラベル貼り

あさやけ作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

アートフェス出展作品 水差し

山中 武さん
(サングリーン)



生きていこう かいていこう
あさやけアートフェスティバル2021 開催



あさやけ鷹の作業所合同作品

10月4日から8日まで、ルネこだいらの展示室であさやけアートフェスティバル2021を開催いたしました。小林小平市長はじめ、連日多くの方でにぎわい、5日間で500名こえる方にご来場いただきました。

昨年はコロナの影響で中止となったので、アートフェスティバルは2年ぶりの開催です。パザー等法人行事が中止となる

中、何としてもアートフェスティバルだけは開催したい、との思いで準備を進めてきました。しかし、コロナ感染者がどんどん増える中、こんな状況で開催してもよいのだろうか？という葛藤の中で迷いながらの準備は戸惑いもありました。それでも感染対策を万全にし、可能な限り安全に観覧いただけるようにすることで開催に踏み切りました。マスクの着用、検温、消毒、入場人数の制限など、ご来場いただいた方々には何かとご不便をおかけしましたが、何事もなく無事に終えることができ、ほっとするとともに、やってよかった、という思いが強くなってきています。ご協力いただいた皆様には感謝を申し上げます。

各事業所では、コロナ禍の中でなかなかアート活動が行えないというところもありました。作品ができず、参加を断念するという事業所も。そんな中でも200点近い作品が集まり、それぞれ個性豊かで、感心したり、考えさせられたり、ほっこりしたり、くすっと笑わせてくれるような素晴らしい作品ばかりです。これらの作品に作者が込めた思い、可能性の大きさに多くの方々に触れていただけたこと、大変うれしく思います。



みなさんこんにちは、私は山中武と申します。サングリーンに came した理由は、他の作業所に行っていました。作業所の中でも給料が良かったのが理由でした。最近では自転車通勤しています。今はいろいろな作業をしていて、米ぬか石けんの製造の他に、市報配達なども行っています。

幼いときからプラモデル製作をしていて、戦艦や戦車の模型を手がけていました。元メンバーの方からいただいた「M二四」のチャーター戦車の模型を組み立てて、アートフェスティバルなどに展示させてもらったりしていました。

サングリーンの「アートルーム」の時間では、自分なりの好きな部屋の絵などを描いたりして、工夫をこらしました。私は五七歳になります。これらかといいますが、何か環境整備とか、人の役にたてることのできたらなと思っています。都営住宅で暮らしていますので、イベントや清掃活動にも力を添えたいと思います。自治会活動にも積極的に参加して、協力し

て頑張っている取り組みたいと思っています。

山中さんとあさやけとの関わりは福祉工場エバグリーンからです。主力製品の米ぬか石けんの製造以外に、手が器用なので今年度からは縫製班に駆り出されることも増え、最近ではテディベアを手縫いしています。通院日以外は休まず通所し、毎日給水機の手入れをし、体操の声かけ役を担っています。

「プラモデルと言えは山中さん」というぐらい、ここ数年のアートフェスティバルではプラモデルを出展してました。今回は、コロナ過でもあり、手が触れる展示作品となる為、出展は控えてもらいました。ですが、山中さんはプロモデルだけではなくありません。アートフェスティバルでは「水差し」「セロハンテープ」の他、合同作品「サングリーンの家」「イニシャルパッチワーク」を出展しました。「絵を描くのはきらいじゃないけど、描けないんです。」と言いますが、とてもよい作品となっています。

絵画サークルが休止している中、今年は作業所全体の取り組みとして創作活動を行いました。他、合同作品、ポストカードの展示販売、自主製品の販売を行いました。



生きていこう かいていこう

絵画クラブの時間と作業の合間に製作した作品をアートフェスティバルに展示しました。クラブには武蔵野美術大学の学生の方が講師として来てくださり、珍しい取り組みができるので皆、楽しみにしています。今回のポスターやハガキの作品も、ストローで息を吹きかけ、絵具が紙の上を流るように流れたものです。自分達の作品を仲間と見たり、皆さまに見て頂ける時間も楽しい一時になっていました。



サングリーンの家

パッチワーク

今年は4月から平日に作品作りの時間を設け、毎回テーマを変えて取り組みました。これまで個人の作品の出品をしていましたが、取り組みの中でできた作品を集めて、合同作品とし、パッチワークとサングリーンの家を出品しました。



憂さ晴らし

絵と詩の世界

あさやけ第二作業所では、個人作品「絵と詩の世界」と合同作品「憂さ晴らし」を制作しました。「絵と詩の世界」は、以前から制作しているものになります。合同作品では、大きな模造紙に皆さん思い思いの好きな色を塗っていき、その後、自由に好きな言葉や食べ物、今の気持ちなどを書いていきました。文字の上から新しい文字がどんどん書き込まれ、合同作品の「憂さ晴らし」が完成しました。

植木恵理子さんありがとうございました

2021年7月9日、共同ホームサンライズ施設長植木恵理子さんが、62歳という若さで急逝されました。

植木さんは1994年、共同作業所全国連絡会（現：きょうされん）から社会福祉法人ときわ会に入職、福祉工場エパーグリーン（現：サングリーン）、共同ホームサンライズ、あさやけ第二作業所に勤務、たくさんの精神障害がある人たちと出会い、生活や仕事、就労への支援に取り組んでこられました。特に最近、小平地域精神保健福祉業務連絡会の代表や、日本社会事業大学の非常勤講師なども務め、地域との連携にも積極的にかかわってこられました。

ご逝去当時、コロナ禍でなかなかきちんとしたお別れができませんでしたので、10月8日（金）に、ルネこだいらレセプションホールにて、植木さんの功績を称え、思い出にふれる会を催しました。当日は若かりし頃の写真から最近の活動までのスナップ写真のスライドショー、ビデオメッセージ、彼女の執筆したレポートや原稿、そして彼女の思い出を描いたあさやけメンバーの創作作品を展示しました。70名ほどの内外の関係者の方々にご来場いただき、みなさん熱心に展示やスライドショーをご覧になっていました。催事の最後1時間で、参加者の方にご着席いただき、おひとりお一人から、植木さんとの思い出を語っていただきました。それぞれが彼女への感謝を述べられ、悲しいなりに彼女の思いを受け継いでいこうという気持ちがあふれていました。

当日は遠くからご家族も来場され、一緒に思い出に浸っていただきました。

最後に理事長の遠山陽子から、植木恵理子さんにおくる歌が披露され、語り尽くせない思いのなか、お開きとなりました。

ご参加いただいた方々、お花など贈っていただいた方々に心より感謝申し上げます。

社会福祉法人ときわ会は植木恵理子さんの志を受け継ぎ、さらに全力で障害福祉にのぞみます。



絵画クラブに所属している方達が、今までに取り組んだ物の中からこれという作品を選んで出展しました。水彩絵の具、クレヨン、色鉛筆など思い思いに画材を選んで書いた絵や、紙芝居、指人形劇の台本などもありました。また、みんなの会の活動では、大きな布に自分の手足を使って色付けし、華やかな『みんなの元気な木』を描きあげました。そしてもう一つ自由参加の共同作品は、小麦粉に食紅で着色した絵の具と新聞紙を使い、それぞれが好きな感触を楽しんで作り上げた『ぐによ、びりっ、かさっ、どさっ』でした。会場に飾られた作品は、ライトに照らされ、いろいろな方に観ていただき、どれも生き生きとしていました。



みんなの元気な木

あさやけ風の作業所

生きていこう かいていこう



地域生活支援センターあさやけ

ブルーベリー栽培発祥の地「小平」から今年もお届けします ～サングリーン～

皆さんもご存知の通り、小平はブルーベリーが日本で初めて栽培された土地です。今年も小平市内にあるベンズファームさんで収穫されたブルーベリーをたっぷり使って、ジャムに仕上げました。

他の果汁や酸味料、増粘剤等は一切加えず、ブルーベリーとグラニュー糖のみで煮詰めて作った甘さと酸味、ブルーベリーの良さを味わえるジャムになります。

柔らかな食パンに塗ってもよし、もちろんトーストにもヨーグルトにもよく合います。今年の夏はもう終わってしまいましたが、練乳と一緒にかき氷にかけても楽しめます。

まずは、一本お試しください。



ご注文はサングリーン (TEL 042-345-1585) まで。

建設の進捗状況
(10/4)
(仮称)上水南町作業所



あさやけの和ふきん

1枚
225円



ご注文は、042-345-4575 まで
あさやけ作業所で販売しています。

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願ひします。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

9月の廃品回収の回収量は9,920kgでした。内訳は新聞6,530kg、雑誌・ダンボール2,690kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて113,210円でした

次回は11月20日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。